

a 高等学校教諭1種免許状「英語」

(2022年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数			
科目			単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	1	英語発音入門② 英文法(基礎)1② 英文法(基礎)2② 英文法(発展)1② 英文法(発展)2② 英語学入門1② 英語学入門2② 英語音声学演習(2) 英語学(音声・音韻)(2) 英語学(語彙・形態)(2) 英語学(語法・文法)(2) 英語学(意味・語用)(2) 英語学(特論)(2)	14	
		英語文学	1	英文学入門1② 英文学入門2② 米文学入門1② 米文学入門2② 英文学(近代)(2) 英文学(現代)(2) 英文学(特論)(2) 米文学(近代)(2) 米文学(現代)(2) 米文学(特論)(2)	8	
		英語コミュニケーション	1	英文講読(基礎)1② 英文講読(基礎)2② 英文講読(発展)1② 英文講読(発展)2② Academic English 1A(2) Academic English 1B(2) Speaking(Basic)A(2) Speaking(Basic)B(2) Extensive Reading(Basic)(2) ISEC(2) Academic English 2A(2) Academic English 2B(2) Speaking(Intermediate)A(2) Speaking(Intermediate)B(2) Special Topics through English(2) Speaking(Advanced)(2) 上級英語A(2) 上級英語B(2)	8	
		異文化理解	1	イギリス入門② アメリカ入門② 海外ボランティア(2) 異文化間コミュニケーション1[2] 異文化間コミュニケーション2[2] 英米文化(言語)(2) 英米文化(社会)(2) 英米文化(映像・身体表現)(2) 英米文化(特論)(2)	8	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					-
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)			4	英語科教育法Ⅰ[2] 英語科教育法Ⅱ[2] 英語科教育法Ⅲ[2] 英語科教育法Ⅳ[2]	8
	計			24		46
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		10	教育原理[2]	2
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職入門[2]	2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育制度要説(含学校経営)[2]	2
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学[2] 青年心理学(2)	2			
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説[1]	1			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論[2]	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法		8	総合的な学習の時間要説[1]	1	
	特別活動の指導法			特別活動要説[2]	2	
	教育の方法及び技術			教育の方法と技術[2]	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			ICT活用の理論と実践[1]	1	
	生徒指導の理論及び方法			生徒・進路指導論[2]	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			教育相談[2]	2	
教育実践に関する科目	教育実習		3	教育実習Ⅰ[2] 教育実習Ⅱ(2) 教育実習指導Ⅰ[2] 教育実習指導Ⅱ[2]	6	
	学校体験活動				-	
	教職実践演習		2	教職実践演習(中・高)[2]	2	
大学が独自に設定する科目			12	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	-	
合計			59		75	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、○の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

b 中学校教諭1種免許状「英語」

(2022年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数	
科目		単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語発音入門② 英文法(基礎)1② 英文法(基礎)2② 英文法(発展)1② 英文法(発展)2② 英語学入門1② 英語学入門2② 英語音声学演習(2) 英語学(音声・音韻)(2) 英語学(語彙・形態)(2) 英語学(語法・文法)(2) 英語学(意味・語用)(2) 英語学(特論)(2)	14
		英語文学	英文学入門1② 英文学入門2② 米文学入門1② 米文学入門2② 英文学(近代)(2) 英文学(現代)(2) 英文学(特論)(2) 米文学(近代)(2) 米文学(現代)(2) 米文学(特論)(2)	8
		英語コミュニケーション	英文講読(基礎)1② 英文講読(基礎)2② 英文講読(発展)1② 英文講読(発展)2② Academic English 1A(2) Academic English 1B(2) Speaking(Basic)A(2) Speaking(Basic)B(2) Extensive Reading(Basic)(2) ISEC(2) Academic English 2A(2) Academic English 2B(2) Speaking(Intermediate)A(2) Speaking(Intermediate)B(2) Special Topics through English(2) Speaking(Advanced)(2) 上級英語A(2) 上級英語B(2)	8
		異文化理解	イギリス入門② アメリカ入門② 海外ボランティア(2) 異文化間コミュニケーション1[2] 異文化間コミュニケーション2[2] 英米文化(言語)(2) 英米文化(社会)(2) 英米文化(映像・身体表現)(2) 英米文化(特論)(2)	8
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		8	英語科教育法Ⅰ[2] 英語科教育法Ⅱ[2] 英語科教育法Ⅲ[2] 英語科教育法Ⅳ[2]	8
計		28		46
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理[2]	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門[2]	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	10	教育制度要説(含学校経営)[2]	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学[2] 青年心理学(2)	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説[1]	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラムマネジメントを含む。)		教育課程論[2]	2
	目及び生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目		道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	道徳教育要説[2] 総合的な学習の時間要説[1] 特別活動要説[2] 教育の方法と技術[2] ICT活用の理論と実践[1] 生徒・進路指導論[2] 教育相談[2]
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習Ⅰ[2] 教育実習Ⅱ[2] 教育実習指導Ⅰ[2] 教育実習指導Ⅱ[2]	8
	学校体験活動			-
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)[2]	2
大学が独自に設定する科目		4	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得	-
合計		59		79

注 本学開設科目(単位)欄のうち、○の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。